



角川武蔵野ミュージアム
Kadokawa Culture Museum

公益財団法人
角川文化振興財団
Kadokawa Culture Promotion Foundation

公益財団法人角川文化振興財団
2022年10月18日

来場者数 15 万人突破！ 好評につき 2023 年 1 月 9 日(月)まで会期延長決定 体感型デジタルアート展「ファン・ゴッホ ー僕には世界がこう見えるー」

公益財団法人 角川文化振興財団（所在地：東京都千代田区、理事長：川上量生、以下 角川文化振興財団）は、「ところざわサクラタウン」内、「角川武蔵野ミュージアム」1F のグランドギャラリーにて開催中、巨大映像空間へ没入する 360 度体感型デジタル劇場「ファン・ゴッホ ー僕には世界がこう見えるー」の会期を、2023 年 1 月 9 日(月)まで延長することを決定しました。

同展覧会は多くのメディアや SNS で紹介され高い関心を集め、10 月 16 日(日)までの来場者は 15 万人を突破しました。来場者に好評を得ていることに加え、ご来場を希望される多くの声を受け、年末年始を挟んだ来年 1 月 9 日まで会期を延長します。冬期休暇などを活用して、多くのお客さまにご来場いただきたいと思います。

■ゴッホを浴びて、ゴッホを知り、ゴッホと遊ぶ。新しいゴッホとの出会い。

フィンセント・ファン・ゴッホ（1853-1890）が見た世界を追体験する本展覧会は、3 つの会場に分かれています。

第 1 会場は「体感型デジタルアート」。会場の壁と床 360 度に投影された映像と音楽で、彼が見た世界を再現しながら、情熱的な画家の人生を辿ります。正しい鑑賞方法は存在せず、映像空間の中で、歩き回り、立ち止まり、ハンモックやクッション、椅子に座り、鑑賞者の感性の趣くまま自由に楽しむことができます。

第 2 会場は「ファン・ゴッホの手紙」。知っているようで知らないファン・ゴッホの生涯を、年表と手紙を元に辿ります。ゴッホの短くも情熱的で起伏に満ちた生涯を、その時の喜びや悲しみを表現したポップなイラストと、気分の上下を表現したラインとで展示しています。

第 3 会場はフォトスポット（無料エリア）。一面のひまわり畑が来場者を迎え、ファン・ゴッホの自画像や絵画のひまわりとともに、花束や麦わら帽子、セルフスタンドを使って写真を撮影できます。会場内にはファン・ゴッホの名言を小さく散りばめているので、探して楽しむこともできます。

場内では一部を除いて自由に撮影ができ、各会場で撮影された写真は SNS などに数多く投稿されています（※動画撮影、フラッシュ撮影は禁止）。



第 1 会場（第二幕「自然」より）



第 1 会場（第五幕「オリーブの木と糸杉」より）

Creative Direction: Gianfranco Iannuzzi
Created by : Gianfranco Iannuzzi – Renato Gatto – Massimiliano Siccardi
KCM Editing: Rino Tagliaferro
Production: Culturespaces Digital®



第 2 会場



第 3 会場



【展覧会概要】

展覧会タイトル：ファン・ゴッホ ―僕には世界がこう見える―

英語タイトル：Van Gogh - This is how I see the world -

新しい会期：2022年6月18日(土)～2023年1月9日(月)

会場：角川武蔵野ミュージアム 1 階 グランドギャラリー

主催：角川武蔵野ミュージアム（公益財団法人 角川文化振興財団）

開館時間：日～木 10:00～18:00／金・土 10:00～21:00 最終入館：閉館の 30 分前

休館日：第 1・3・5 火曜日

チケット価格（税込）：

●オンライン購入（<https://tix.kadcul.com/>） 一般（大学生以上）：2,200 円／中高生：1,800 円／小学生：1,100 円／未就学児：無料

●当日窓口購入 一般（大学生以上）：2,400 円／中高生：2,000 円／小学生：1,300 円／未就学児：無料

お問い合わせ先：角川武蔵野ミュージアム（〒359-0023 埼玉県所沢市東所沢和田 3-31-3 とこざわサクラタウン内）

TEL:0570-017-396（受付時間：10:00-17:00）

展覧会公式サイト：<https://kadcul.com/event/77>

* 休館日、開館時間は変更となる場合があります。最新情報は公式ウェブサイトでご確認ください。

* 「1DAY パスポート」チケットなどでも本展覧会をご覧いただけます。詳細は公式ウェブサイトでご確認ください。

* 展示替えなどにより、日程によっては一部施設に入場できない場合がございます。

* 展示内容が変更、または中止になる場合がございます。予めご了承ください。

■「角川武蔵野ミュージアム」について

図書館、美術館、博物館が融合した文化複合施設。

館長の松岡正剛氏が世界を読み解く 9 つの文脈に沿って独自の配架をした「ブックストリート」、博物学者の荒俣宏氏が監修する「荒俣ワンダー秘宝館」、「本と遊び、本と交わる」をテーマにした「本棚劇場」、これら「エディットタウン」は当館のメインエリアです。本棚劇場では、360 度を取り囲む高さ 8m の巨大本棚にプロジェクションマッピングが映し出されます。

また、マンガや多数の出版社のライトノベルが並ぶ「マンガ・ラノベ図書館」や、企画展が開催される「グランドギャラリー」など、松岡館長が提唱する「想像力とアニメに遊ぶミュージアム」として、様々な「まぜまぜ」を提供します。

建築デザイン監修は隈研吾氏、アート部門ディレクターは神野真吾氏。

公式サイト：<https://kadcul.com/>

twitter：https://twitter.com/Kadokawa_Museum

Instagram：

https://www.instagram.com/kadokawa_culture_museum

Facebook：

<https://www.facebook.com/kadokawaculturemuseum>

一般の方からのお問い合わせ：0570-018-396（10:00-17:00）



© 角川武蔵野ミュージアム

■角川文化振興財団について

角川文化振興財団は「わが国の文化の振興に寄与する」という財団の設立目的実現のために、文芸の成果に対する授賞、文芸に関する出版、文芸の研究や著述の刊行への助成、映画芸術振興に関する助成、また文芸・映画資料の収集・保存・展示等、様々な事業を行っております。

公式サイト：<http://www.kadokawa-zaidan.or.jp/>
